

【概要】 ※福岡市環境教育・学習計画推進協議会設置要綱

設置：平成10年8月

目的：福岡市環境教育・学習計画を市民、事業者及び市が連携して推進する。

職務：次の各号に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 福岡市環境教育・学習計画の推進に関する事項
- (2) 前号に定めるもののほか、環境教育・学習に関し必要な事項

委員：学識経験者（2）、関係団体（4）、市民（1）、事業者（2）、学校（1）、NP0・ボランティア関係（1）、福岡市（3）

【福岡市環境教育・学習計画の推移】

平成9（1997）年3月		福岡市環境基本計画（1）
平成10（1998）年3月	福岡市環境教育・学習計画（1）	※8月：環境教育・学習計画推進協議会設置
平成18（2006）年7月		福岡市環境基本計画（2）
平成18（2006）年9月	福岡市環境教育・学習計画（2）	
平成26（2014）年9月		福岡市環境基本計画（3）
平成27（2015）年9月	福岡市環境教育・学習計画（3）	
令和7（2025）年9月	福岡市環境基本計画（4）※環境教育・学習計画を統合・内包	

※令和6年10月開催 福岡市環境教育・学習計画推進協議会

- 福岡市環境教育・学習計画（第三次）の検証について
 - ・計画期間全体を通じた成果指標の達成状況を評価し、計画の検証を行った。
- 計画改定の方針について

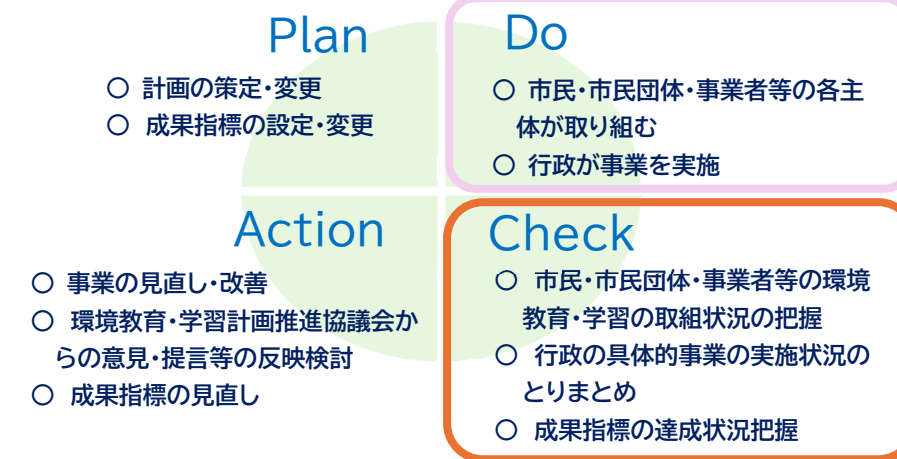
※第三次計画の検証を踏まえ、環境基本計画(第四次)の策定に合わせ、環境基本計画と環境教育・学習計画を一体のものとして策定することについて合意。

〔福岡市環境教育・学習計画の統合について〕 ※福岡市環境基本計画(第四次)本文より

- 「福岡市環境教育・学習計画」は、家庭、学校や職場、地域その他あらゆるところでの「気づき」と「学び」を通して、環境への関心や配慮のこころ（＝環境マインド）を育み、環境保全への「ふるまい」や「行い」が無意識に、習慣的に行われ、そして、地域・世代を超えてその想いやより良い環境をつないでいくことを目指しています。
- 2015（平成27）年に策定した「福岡市環境教育・学習計画（第三次）」では、環境保全・創造に向けた「人づくり」「地域づくり」の取組みを推進してきましたが、2024（令和6）年5月に閣議決定された国の「第六次環境基本計画」や「環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針」においても、その重要性が指摘されています。
- 「福岡市環境教育・学習計画」は「福岡市環境基本計画」の部門別計画として取組みを推進してきましたが、両計画は表裏一体のものとしてこれまで策定してきたことから、環境法令に基づく計画等の一体策定等に係る国の助言も踏まえ、両計画を統合し、より効果的な運用を図るものです。

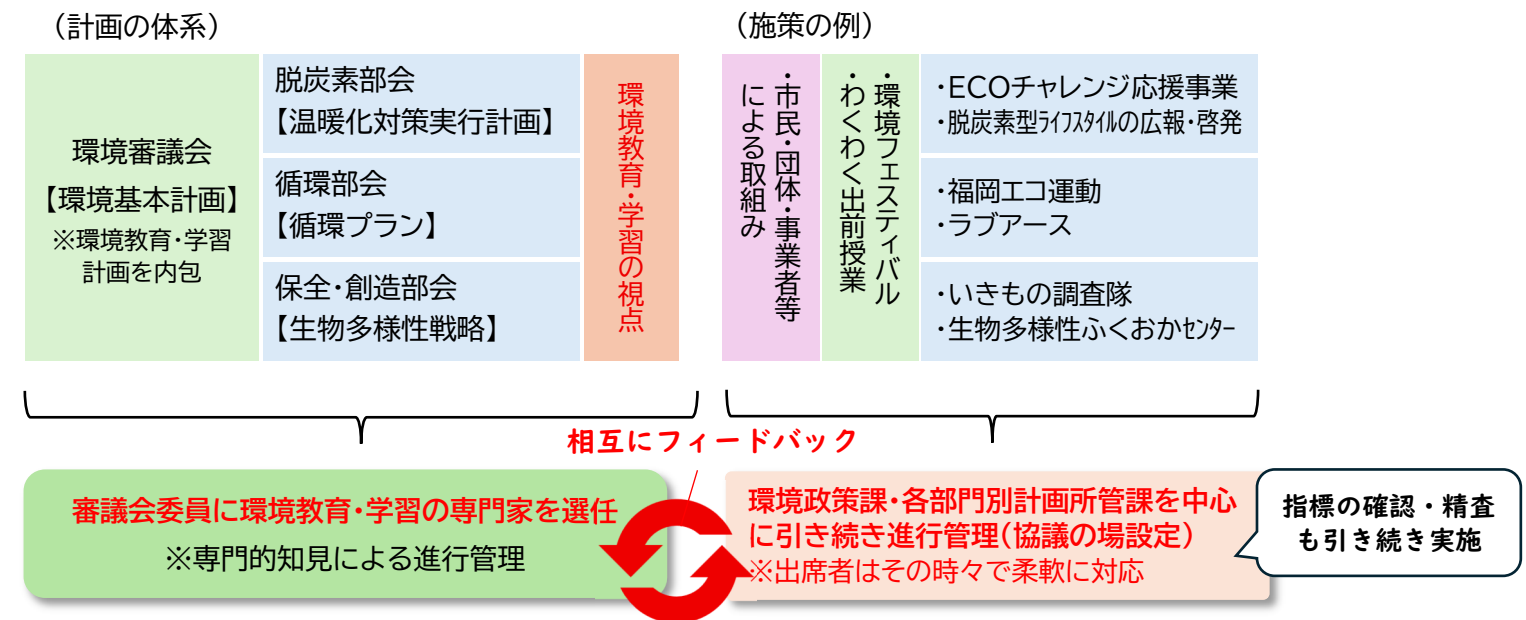
【これからについて】

※環境教育・学習計画（第三次）での計画推進の流れ（一部抜粋）



- 協議会委員それぞれが環境教育・学習のプレーヤーであるとともに、協議会の枠組みにおいて、相互に連携し、各主体の取組状況の把握や計画の成果指標の達成状況の把握、必要な取組みについての意見・提言などを行ってきた。
- 環境基本計画と環境教育・学習計画の統合後も、協議会がこれまで担ってきた役割を引き継いでいけるような工夫が必要。

◆ 環境教育・学習計画統合後の進捗管理体制イメージ



※環境教育・学習に関する課題や取組を環境政策課や所管課で横断的に整理し、関係者に意見を求めていく。その成果は審議会に報告する。

例）子どもや若年層への「脱炭素」行動の浸透

- ① 講座の充実（検討中）
 - わくわく出前授業に脱炭素講座の追加（カードゲームなどにより楽しみながら学ぶ）
- ② 目を引くショート動画により、若者に訴求（実施中）
 - 脱炭素行動を促進するイベントへ誘導

関係者にも意見を聴きながら、成果の検証

審議会に報告

⇒取組の見直し、新たな展開の検討

【参考】「環境教育・学習計画」と「環境基本計画」の対応表

環境教育学習計画(第三次)

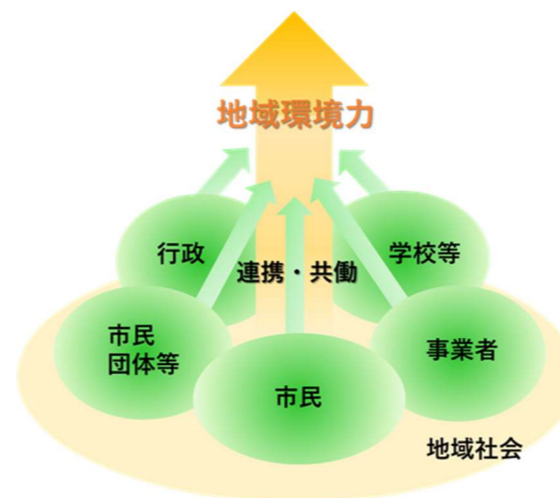
施策体系	主な事業
基本的方向1 市民一人ひとりの、環境保全活動実践を支援・促進する	・ECO チャレンジ応援事業 ・住宅用エネルギーシステム導入支援事業 ・生ごみリサイクル推進事業
基本的方向2 市民団体の自主的な活動を支援・促進する	・環境行動賞 ・地域集団回収等報奨制度
基本的方向3 学校等における環境教育・学習を支援・促進する	・環境副読本作成 ・自然体験活動(脊振少年自然の家等)
基本的方向4 事業者の環境保全活動実践を支援・促進する	・省エネ設備導入支援事業 ・再エネ設備導入支援事業 ・食品廃棄物資源化費用補助 ・環境配慮型事業者認定
基本的方向5 行政が率先して環境保全活動を実践する	・グリーン購入推進 ・市有施設における再エネ導入推進
基本的方向6 多様な環境教育プログラム・教材等を提供する	・市民参加型環境モニタリング ・自然体験活動(イベント)
基本的方向7 リーダーやコーディネーターを育成・把握するとともに、活躍を促進する	・環境わくわく出前授業(講師派遣事業) ・未来へつなげる環境活動支援事業
基本的方向8 各主体やその取組み、環境に関する必要な情報を提供する	・生物多様性ふくおかセンター(Web)発信 ・大気の常時監視、予測情報の発信
基本的方向9 各主体の共働・連携を促進する	・環境フェスティバルふくおか ・ラブアース・クリーンアップ事業

環境基本計画(第四次)

施策体系	主な事業
重点施策1 環境行動を実践するまちづくり	・環境行動賞 ・環境副読本作成 ・自然体験活動(脊振少年自然の家等) ・環境わくわく出前授業(講師派遣事業) ・未来へつなげる環境活動支援事業 ・環境フェスティバルふくおか ・環境配慮型事業者認定
重点施策2 環境経営を実践するまちづくり	
基本施策1 カーボンニュートラルを実践したまちづくり	・ECO チャレンジ応援事業 ・住宅用エネルギーシステム導入支援事業 ・省エネ設備導入支援事業 ・再エネ設備導入支援事業 ・グリーン購入推進 市有施設における再エネ導入推進
基本施策2 地球にやさしい循環のまちづくり	・生ごみリサイクル推進事業 ・地域集団回収等報奨制度 ・食品廃棄物資源化費用補助
基本施策3 多様性にあふれた自然共生のまちづくり	・市民参加型環境モニタリング ・自然体験活動(イベント) ・生物多様性ふくおかセンター(Web)発信
基本施策4 安全で良質な生活環境のまちづくり	・大気の常時監視、予測情報の発信
基本施策5 九州・アジアとつながる環境協力のまちづくり	・ラブアース・クリーンアップ事業

溶け込み

理念を継承



●「地域環境力」の向上

(計画抜粋)
本計画を着実に推進し、複雑・多様化する環境問題に対応するためには、各主体が各々で取り組むだけでなく、地域社会の一員として相互の役割・関係性を理解するとともに、自ら「学び、行い、つなぐ」ことが必要であり、行政が率先して各主体の自主的な行動を促進するとともに、各主体が公平な役割分担のもと、様々な取組みに参画できるよう促していくことで、地域から環境を良くしていこうとする力:「地域環境力」を向上させていきます。

環境教育に取り組んでいる団体の交流の確保について

環境フェスティバルの団体交流会

環境保全・創造に取り組む市民団体、事業者等の情報交換の場を設定し、各主体の活動の環を広げる

頻度：年1回（1月頃）

※環境フェスティバルは10月

場所：天神

参加者：32団体 50名（R6実績）

イオン九州株式会社、
川上産業株式会社
NPO法人循環生活研究所
福岡県地球温暖化防止活動推進センター等

内容：団体活動紹介、座談会、交流会

参加者の声：

- ・事業者と連携の輪が進んだ（NPO法人）
- ・NPO法人と連携してアプリ広告等の事業行うきっかけとなった（事業者）
- ・2社と交流が続いている（事業者）

★協議会委員に参加いただくなど、
交流の充実・強化を図る

まもる一む交流支援

環境活動団体等の交流支援や情報発信を行う

頻度：年4回

場所：まもる一む福岡

参加者：延べ32団体 85名（R6実績）

内容：交流会（3回）

活動発表会（1回）



参加者の声：

- ・環境施設同士のつながりを作りたい
- ・また参加したい
- ・他の方から色んなことを勉強したい

環境団体交流会

環境活動団体等を繋げて活動の輪を広げる

頻度：年2回

場所：西部3Rステーション

参加者：延べ52名（R6実績）

JICA福岡、西陵高校等：紙すきで作ったうちわに書道体験
三陽高校・西陵高校：漁網を使った緑のカーテン作製



外国からの研修生の反応：

パルプを不用な牛乳パックから作っていること、高校生の英語に感心し、交流会が大いに盛り上がった

※参考：H27年12月に環境フェスティバル出展者と協議会委員の意見交換会開催